

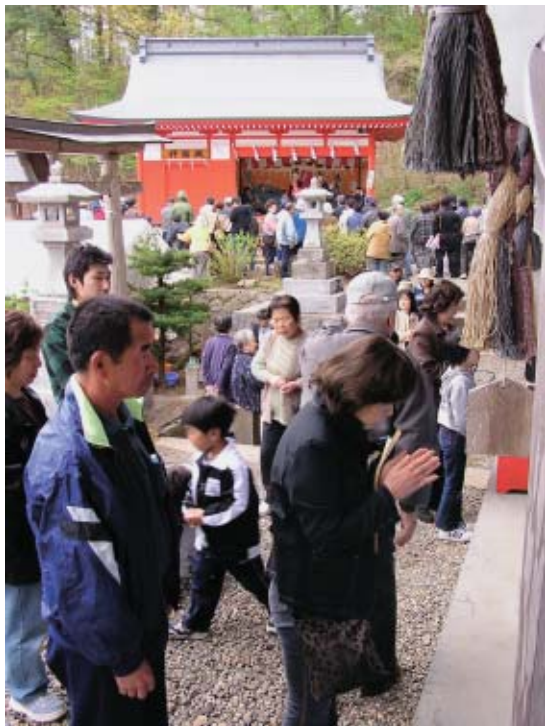


## コンブ漁もう少し

今年の養殖コンブ漁は、スキコンブが4月末から、生出荷の長切りコンブと刻みコンブが5月下旬から始まり6月中旬過ぎでほとんど終わります。

6月8日、ここ黒崎漁港内では長根利順<sup>としのぶ</sup>さんと正路恵一さんのお宅でも、家族総出で出荷作業に追わ

れていました。(写真)コンブ漁は、午前零時に漁に出て、午後3時から8時ごろまで漁港内で出荷作業をしているとのこと。それでもワカメ漁に比べれば「寒くない分、コンブがいいがな」と疲れも見せず正路さん。漁家の皆さんにとって大切な収入源のコンブ漁も、今年は時化などでの被害もなく、やっとう少しで終わります。



## にぎわった例大祭

大同2(807)年開山といわれる鵜鳥<sup>うのとり</sup>神社の例大祭が5月15日(旧暦の4月8日)に行われ、村内はもとより、三陸沿岸各地から訪れた大勢の参拝者でにぎわいました。(写真)境内には豆腐田楽や焼き鳥などの屋台が並び香ばしい匂いが漂う中、参拝者は本殿に手を合わせ、それぞれの思いを祈願し、おみくじやお札を買ったりしていました。神楽殿では鵜鳥神楽も奉納され、かねや笛、太鼓の音に合わせて勇壮な舞が披露されると観客から大きな拍手がこっぴっていました。

## 楽しんだ英語教室

普代児童館(野崎貞信館長、園児80人)の英会話教室は5月23日から同館で始まり、3から6歳の園児たちが英語の歌やゲームなどを楽しみました。(写真)

同教室は村教委が初めて開いたもの。開講式では講師の村外国語指導助手のスティーブ・ジャングさんと子どもたちが、ラジカセから流れる英語の歌に合わせて、左右にジャンプしたり、泳ぐまねをしたりなど体全体で英語に親しみました。お別れにジャングさんが「バイバイ」というと園児たちは「スィー・ユー(またね)」と即英語で反応するところがまた、かわいかったです。同教室は来年2月まで計18回開きます。

